

# 学習成果の活用を図る 富山における取組み

中央教育審議会生涯学習分科会  
学習成果活用部会(第1回)発表資料

平成27年6月4日

富山大学地域連携推進機構生涯学習部門教授  
藤田 公仁子

# 富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

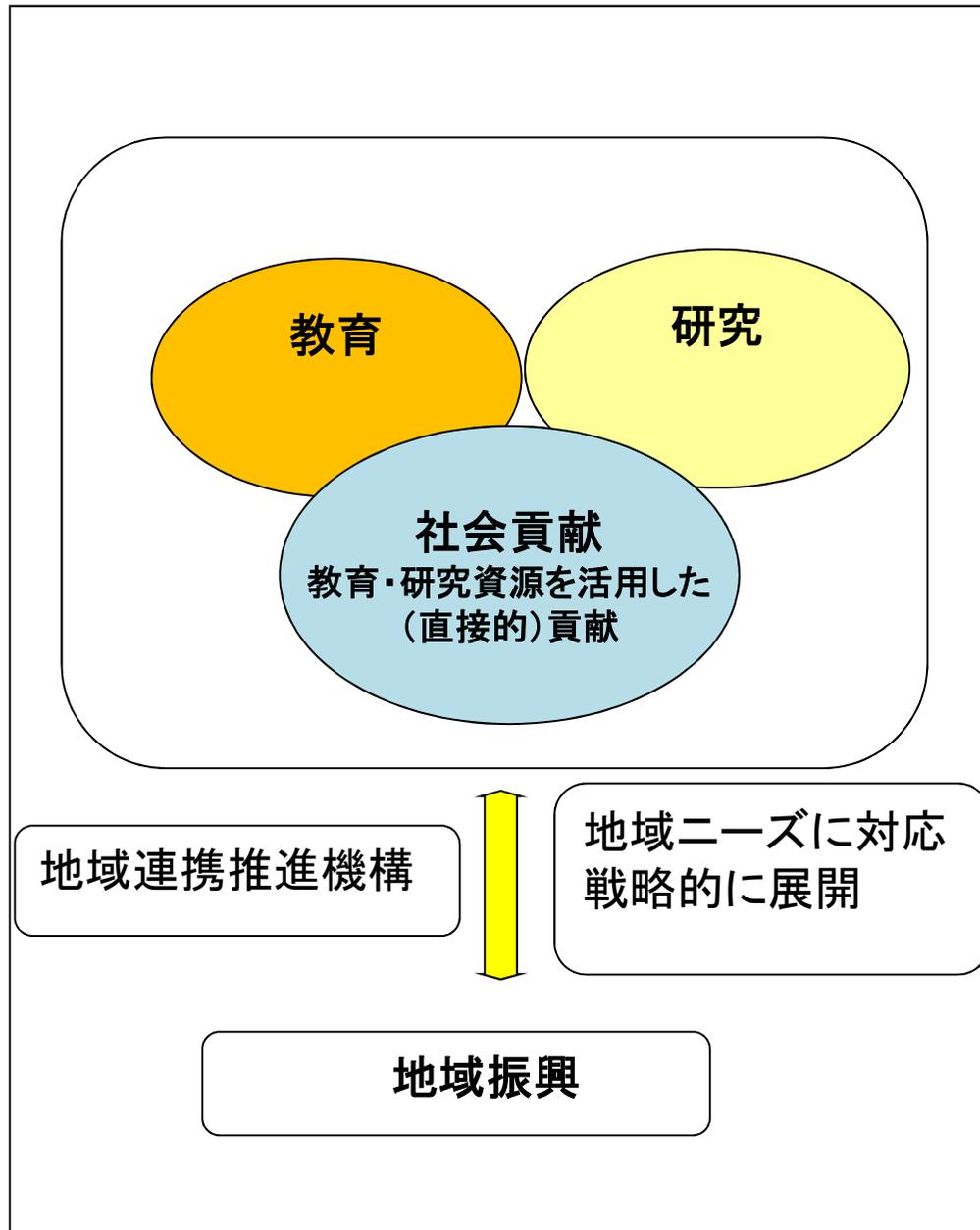
## ◆生涯学習の 調査・研究・開発

- 生涯学習プログラムの研究開発
- 生涯学習に関わるニーズの調査・分析
- 生涯学習分野の大学開放プログラムの研究・開発

## ◆地域の生涯学習の支援

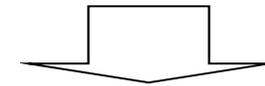
- 生涯学習相談
- 大学開放事業
  - オープンクラス約1000科目公開を目指す
  - 公開講座約80科目
  - サテライト公開講座年8回
  - まちなかセミナー  
(北陸4大学連携講座)
- 経営者大学
- 社会教育専門職員研修
- NPO・ボランティアの支援
- 講師紹介
- 地域連携講座……

# 戦略的な地域連携を目指して



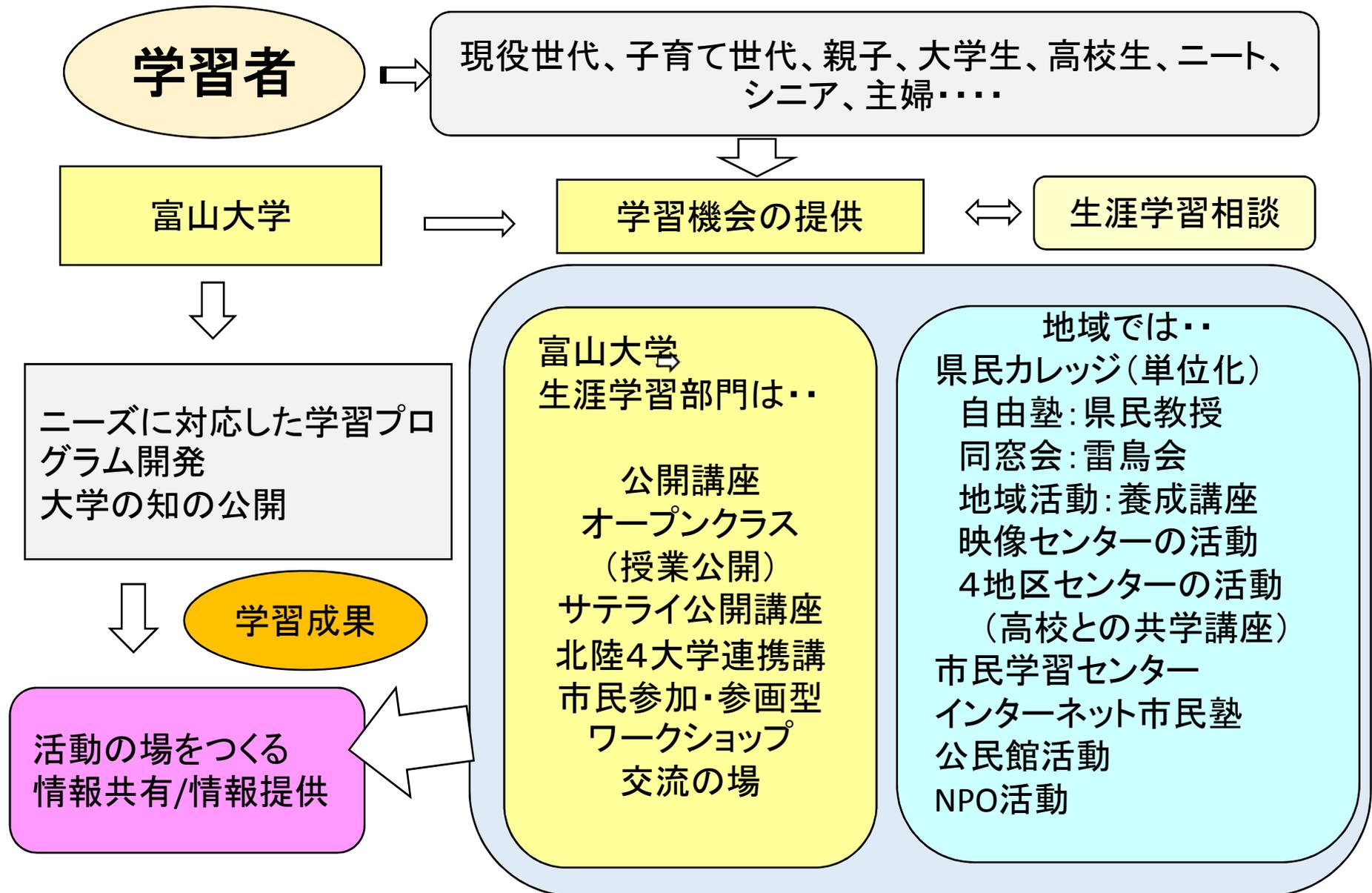
## 戦略的・地域連携事業の推進

- ・地域の知的資源を共有化し活用
- ・地域の産学官金が協働地域連携事業を立案・実施
- ・大学が連携のハブ機能



地域イノベーションに向けて  
大学の多様な資源活用

# 生涯学習のプラットフォームとして

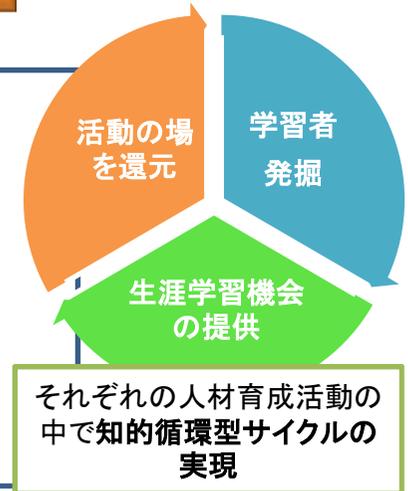


# 目標：地域の生涯学習の拠点

## 現代社会における学び直しと将来的な人材育成

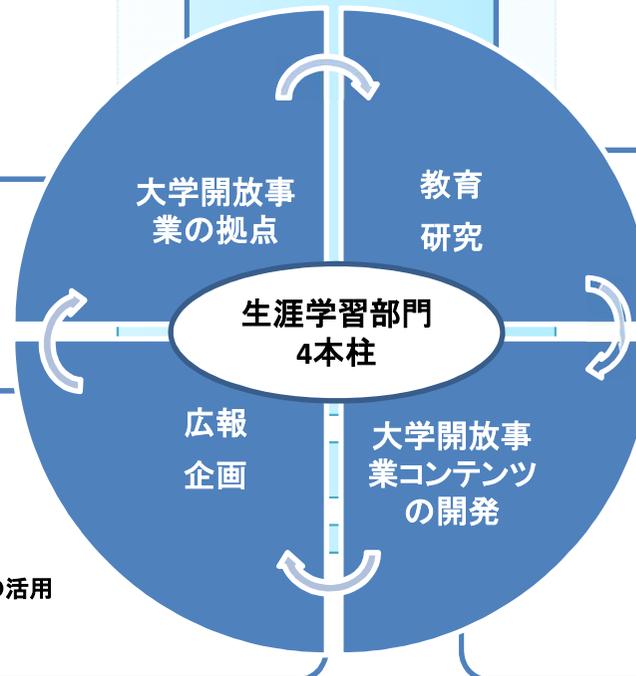
### ★ライフステージに対応した生涯学習を展開

- 学生の生涯学習支援……ボランティアや地域活動、エンプロイアビリティを意識した講座の開講
- シニア世代……昼間時間帯に、シニア世代に合致した内容の公開講座を開講
- 現役世代・子育て世代……ビジネスに関連した講座、子育て・親学びに関する講座を開講
- 地域の人材育成……社会教育の専門職員に対する専門講座(リーダー育成など)
- 地域教育……ボランティア、ふるさと学習、「とやま学」に関連した講座の開講



- 地域の活動の場づくり
- 新しい受講者獲得
- 学内及び地域との新たなネットワーク構築、交流、還元
- 社会教育関係専門職員の研修
- 生涯学習相談

- 生涯学習・社会教育分野の研究
- 地域のニーズと大学のシーズの調査分析
- 生涯学習に関する情報収集

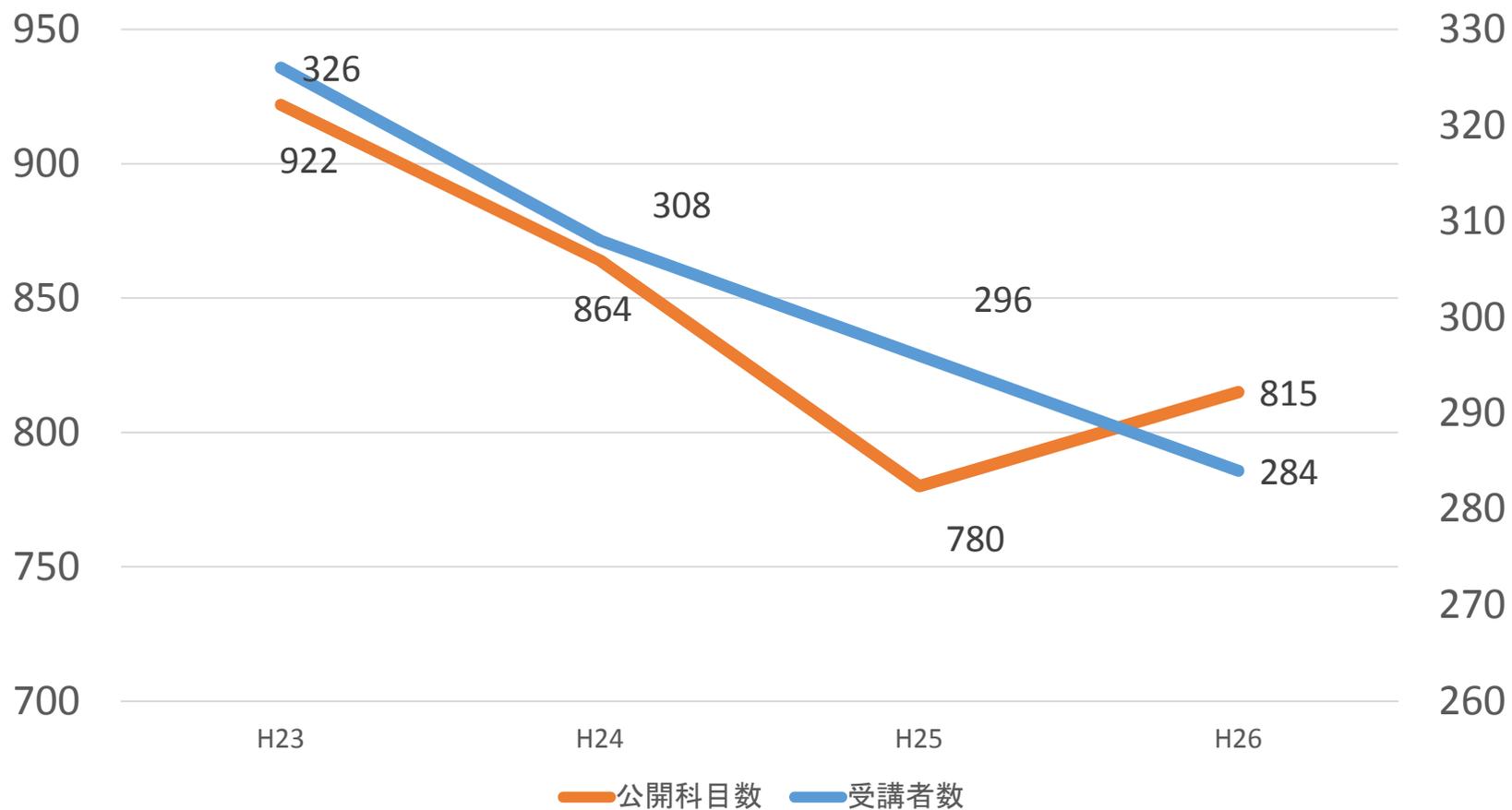


- 広報戦略全般
- Web等、メディア活用
- PRイベントの企画
- 市民参画型講座実施→ネットワークの活用
- 生涯学習「応援隊」の組織化

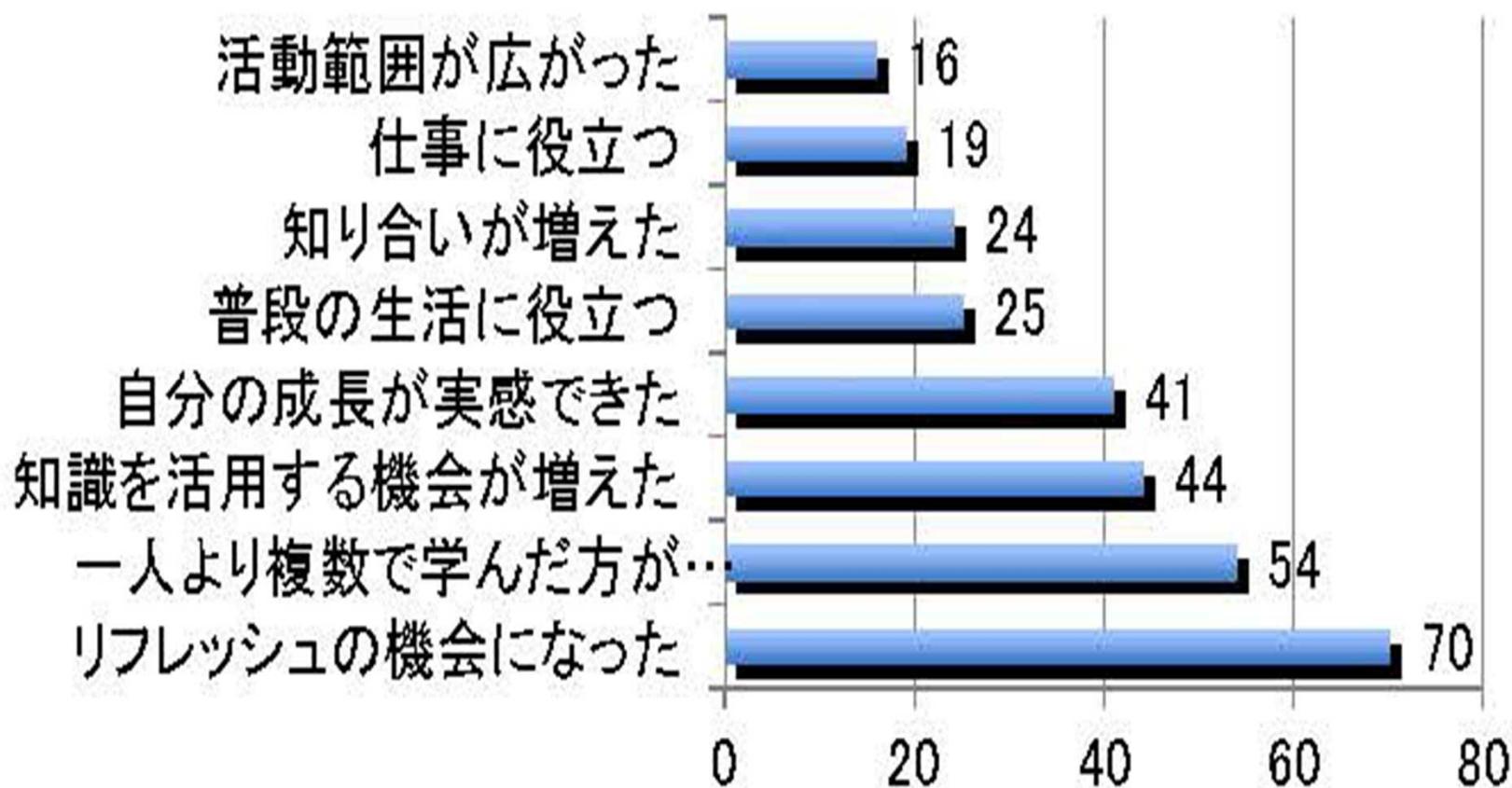
- 次年度公開講座のコンテンツ開発
- 生涯学習プログラムの開発及びそのステップアップ版の開発
- 地域(自治体)との連携プログラム構築
- 高齢社会に対応したプログラムの構築
- 講演会等講師の新規開拓

# 富山大学オープンクラス(授業公開)実施状況

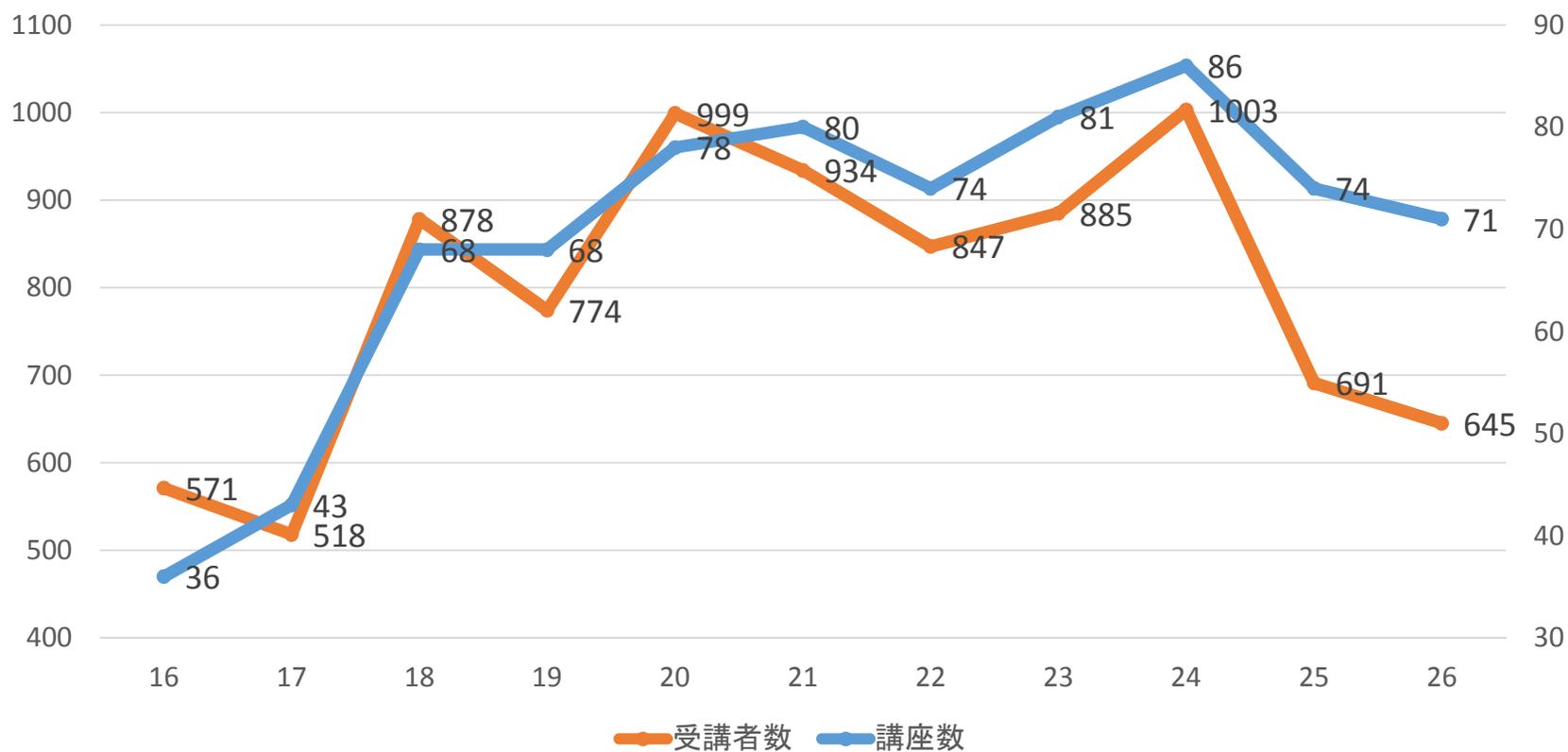
公開授業数1000を目指す



## オープンクラス「授業公開」を受講して



# 富山大学公開講座実施状況

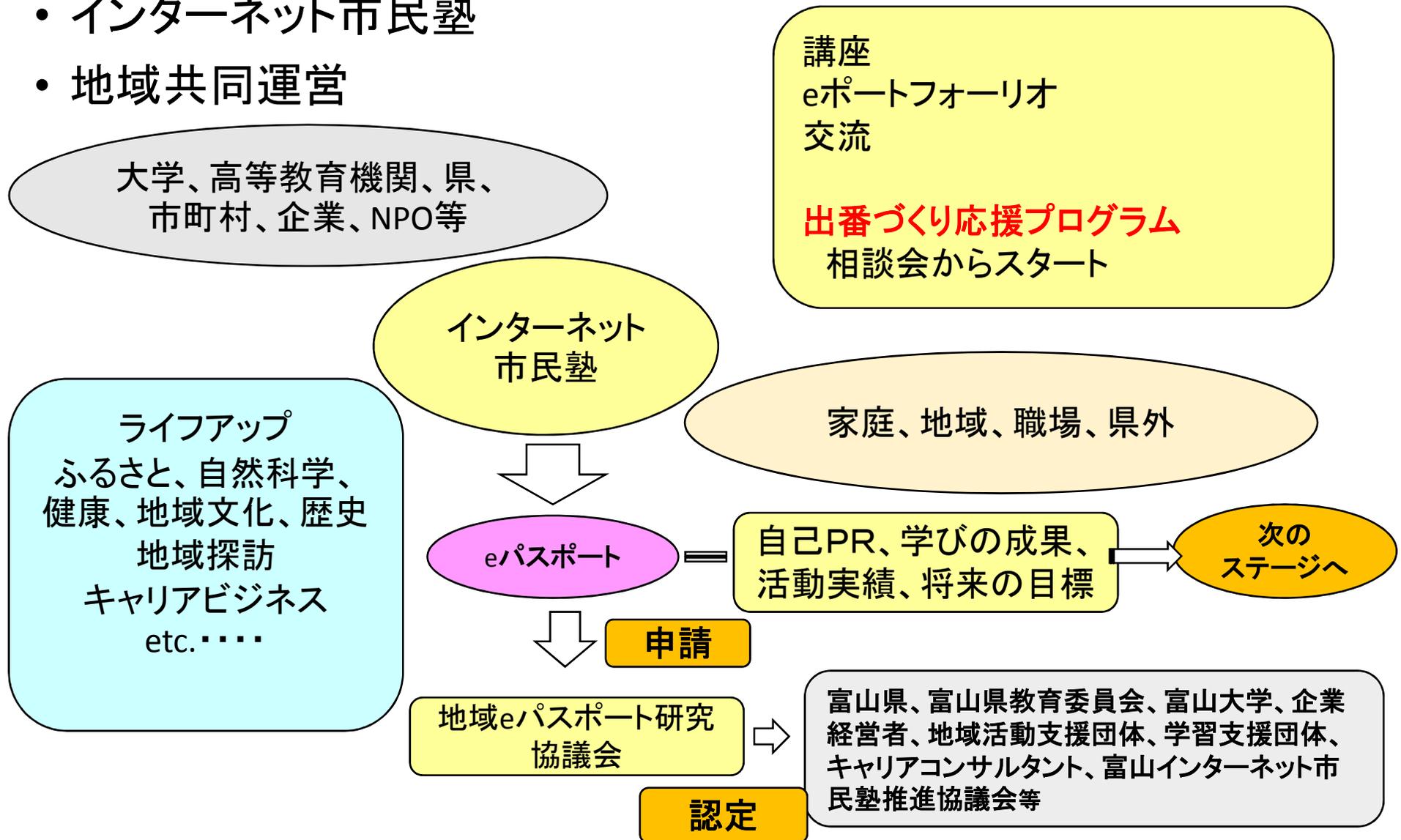


# 公開講座を受講して



# 現代版の学びの場

- インターネット市民塾
- 地域共同運営



## 最近の傾向

- 近く(身近な場所)で
- 夜間 → 平日の午後の時間帯
- 楽しく学びたい
- 講義 → 体験、参加型を希望
- 仲間づくり
- スキルをアップしたい  
仕事に必要な

「学ぶ」ことを目的とする  
学習機会を活用しながら別の目的で  
「何かできる」という気持ちで・・・  
「家から一歩出るために」  
「話す機会を求めて」

## 学習機会

富山県民カレッジ  
市民大学  
大学、短期大学  
専門学校  
通信教育  
公民館  
インターネット市民塾  
民間教育産業  
社会教育施設  
NPO等・・・

## 成果活用の取組み

- 富山県民カレッジ
- インターネット市民塾
- 富山大学
- NPO・・・

## 地域の現状を把握するための富山大学の取り組み

- 県、市町村教育委員会、生涯学習機関との連携  
(常に双方向で情報交換、顔の見える関係を目指す)
- 大学を協議の場へ 大学と地域とのコミュニケーションを大切に！
- 生涯学習の実践者を対象に、参加、参画型ワークショップを開催  
熟議(2012年)開催をきっかけとして実施  
「おとなの学びを語る」2013  
「あなたの学びをその先へ」2014
- ワークショップは、県内の市町村教育委員会、生涯学習機関と連携して実施、結果はすべて情報共有を目指す。

学習成果を次のステップへ

◆ **学習者からの声** → **課題**

➤ **学習成果** ⇨ **発表の場**

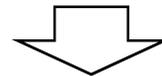
先へ一歩前進したことを発表したい

➤ **学習成果の活用**

個々の学習履歴を見える形にしたい

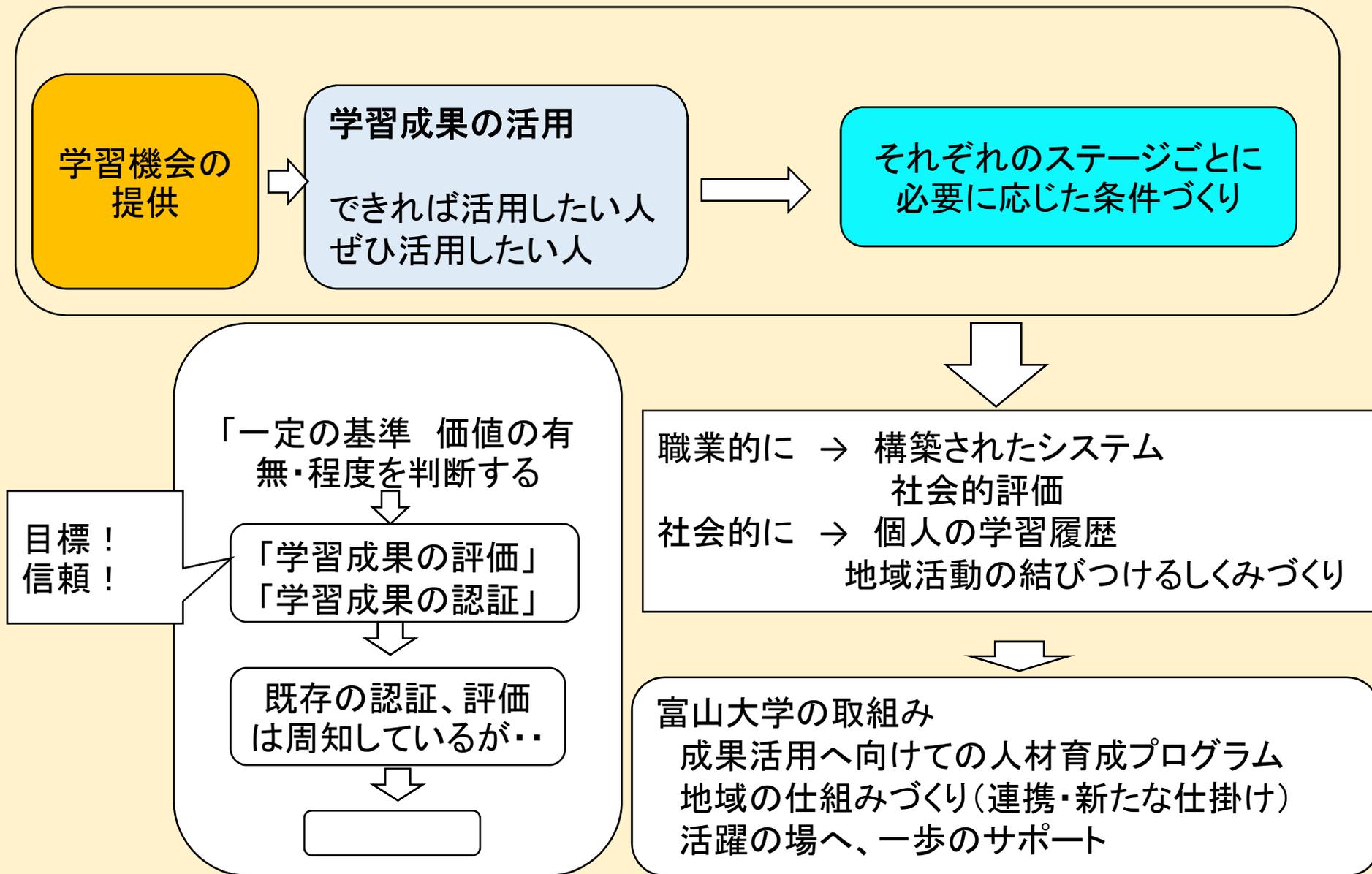
個々の学習履歴

⇨ **地域活動とのコーディネート**をしてほしい



- 学習成果の活用 ⇨ 学習者は情報共有  
専門的な学びの活用
  - ⇨ 地方では機会が限られるケースも個人の趣味・教養的な学習成果
  - 学習機会の出会い → 「何かできるかも・・・」
  - 地域課題解決 → 人的ネットワークの活用した活動コーディネーターが鍵
- 活躍の場、活動の内容は自分たちで・・・。
  - 既存の地域活動では難しいケースが多い
  - 「〇〇ができる、〇〇がしたい。」
  - 自分たちで新しい環境をつくる。
- ICTを活用した取り組みと今後の可能性

# 学習成果の活用へ向けての課題



# 平成26年度富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門の活動状況

## 学習機会の提供

- ・公開講座【71講座】
- ・オープン・クラス(公開授業)【815科目】
- ・経営者大学(中小企業同友会との連携)
- ・いきいき長寿大学  
(富山県社会福祉協議会との連携)
- ・社会教育関係職員の研修等
- ・高大連携  
(小杉高校のオープン・クラスへの参加)
- ・自治体との連携講座

## 生涯学習ニーズの把握

- ・各種アンケート調査実施
- ・**生涯学習ワークショップ**の開催
- ・他の生涯学習機関と連携しながら  
多種多様なニーズの把握

## 相談事業

- ・講師紹介事業
- ・大学のシーズと地域の生涯学習ニーズ  
のマッチング
- ・受講生からの生涯学習相談
- ・地域(自治体等)からの生涯学習相談

## 生涯学習ワークショップ

あなたの学びをその先へ  
-「これからの学び」をワークショップでデザインする-

日時:平成26年11月15日(土)  
参加者数:48名

- ・市民参加参画型
- ・県民カレッジ、富山市民学習センター、  
各教育委員会との連携

- ・**ステップアップ**したい...
- ・学んだことを誰かに**伝えたい**...
- ・**参加参画型**の学びがない...
- ・**ボランティア**に参加したい...
- ・学習者同士の**つながり**が  
欲しい... (**ネットワーク化**)

## 今年度へ向けて の取り組み

▶多種多様な公開講座の  
プログラム開発

▶新たな学習機会への取り組み

学習機会活用への取り組み  
▶生涯学習応援隊(仮称)  
への準備

▶成果発表へ向けた取り組み

▶各種大学開放事業への取  
組み

地域の生涯学習  
の拠点へ